

## 谷川岳山行報告

【山行日】2022年7月18日(水) 晴れ

【集 合】岩舟支所P AM 5:00

【費 用】マイカー2台 : 5,400円

【メンバー】CL:鈴木ユ、 SL:大西

飯口、植竹、大塚、嶋田、鈴木ミ、関、廣瀬

【コースタイム】岩舟支所 P5:00 = 谷川岳

BPP6:40/7:05+++天神平 7:20/7:30~熊穴沢避

難小屋 8:20~肩ノ小屋 9:50~トマノ耳

10:05/10:15~オキノ耳 10:25/10:35~トマノ耳

10:50/11:00~肩ノ小屋 11:10/11:50~熊穴沢

避難小屋 13:00/13:10~天神平 13:50/14:00+++谷川岳 BPP14:10/14:25=岩舟支所 P16:45

谷川岳に登りたいというリクエストがあり、我々の実力を考えて天神尾根ピストンで計画した。

岩舟支所を5時に出発し北関東道から関越道を進み、水上ICで降りて国道291号線を通って谷川



岳ベースプラザ駐車場に車を止める。支

度を整えたらエレベーターで6階に移動し、

ゴンドラのチケットを購入しゴンドラに乗る。

天神平に着き外に出ると青空が広がり、今

日の山行に期待が膨らむ。

ストレッチを行なったら出発し、スキー場の

脇を通って登山道に入る。樹林帯の道をト

ラバース気味に登り、天神尾根からの道と

合さる。緩やかなアップダウンを繰り返し

ながら登ると、熊穴沢避難小屋に着く。

これからの急登に備えゆっくり休憩し、ミカ

ンや菓子を食べてエネルギーを補給する。ここからは2班に分けて登り、北アルプス山行に参加する

5名が先行しオキノ耳を目指す。残り4名

はゆっくりペースで登り、トマノ耳まで登り

1班と合流する。避難小屋を後にすると道

幅が狭く急な登りになり、岩場やクサリ場

を登って行くと大きな岩が露出した天狗の

腰掛岩に着く。展望が良く谷間を横切って

くる風が心地よく、休憩を取って水分補給

を行う。このあたりからニッコウキスゲや

シモツケソウ等の花が見られ、花に癒され

ながら高度を上げて行く。この先、笹やミ

ネカエデ、ウラジロナナカマドなどの低木

の間を直登し、2つ目、3つ目の岩場を登り天神尾根ザンゲ岩で小休止する。



岩の上は展望が良く、爽やかな風がとても気持ち良い。汗が引いたら山頂に向かい、段々の登山道を登ると谷川岳肩ノ小屋に着く。休まずオキノ耳に向かい、笹の道を登ると直ぐに尾根に出て、ほん



のひと登りで三角点があるトマノ耳に着く。トマノ耳からの眺望は素晴らしく、湯檜曾川対岸に白毛門から朝日岳、西には万太郎山から仙ノ倉山、苗場山等の上越国境の山々が望める。展望を楽しんだらもう一つの山頂オキノ耳に向かう。双耳峰の鞍部は花が多く、ニッコウキスゲやハクサンフウロ、ヒメシヤジン、ホソバヒナウスユキソウ、イブキジャコウソウ等が雲上の稜線に咲き誇っている。

花に癒されながら楽しく歩き、岩場をほんの少し頑張るとオキノ耳に着く。こちらの山頂の方

が標高が高く、トマノ耳と同様に展望が素晴らしい。記念写真を撮ったら往路を戻り、トマノ耳に着くと2班がすでに待っていた。全員で集合写真を撮ったら御褒美のプリンをいただき、肩の小屋まで下ってランチタイムとする。小屋前のベンチを確保し、お湯を沸かしてカップ麺やスープを作り、O塚さんのおこわを美味しくいただいた。

トイレを済ませたら下山開始し、往路を天神平に向かって降りて行く。

途中、岩場の下りに時間が掛かり、後続の登山者に迷惑をかけたが、無事に下り切って熊穴沢避難小屋で休憩する。残っていたおやつを全ていただき、水分を補給したら出発する。ここからは岩場も無く順調に下って行き、天神平に無事到着する。ゴンドラに乗って谷川岳ベースプラザに戻り、靴を履き替えたら帰路につく。途中、上信越道の赤城高原SAに寄り、トイレと買い物をして岩舟支所に向かった。上信越道と北関東道は渋滞も無く順調に走り、予定より早く岩舟支所に帰着した。

